

富永三千敏

魚沼市議会活動報告

No.1

平成 26 年 1 月発行

富永三千敏後援会

〒 945-0085 魚沼市下折立 528
TEL 025-795-2704 FAX 025-795-2080

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃は富永三千敏後援会にご指導ご協力いただき有り難うございます。

皆さまのお力添えをいただき議員活動を開始させていただき、遅ればせながらここに活動の一端を報告させていただきます。今後もよろしくお願い申し上げます。

現在無会派です。常任委員会は産業建設委員会に所属し、2つの特別委員会の広報編集委員会、議会改革特別委員会に所属しています。広報編集委員会では年4回発行の議会だよりの編集などを手がけ、議会改革特別委員会では議会基本条例案の作成などに努力しています。近々素案が発表され市民の意見を聞く機会を設けることになっています。

他には地下水対策委員会に所属して会議を重ねています。本委員会では湯之谷村にしかなかった地下水に関する条例を全市に適用すべく新条例作成に努めています。冬期間に不足する地下水を保全しながら誰もが平等に利用できるようにするためのものです。



一般質問

平成25年9月18日 第3回定例会「一般質問」

1. 地域コミュニティ協議会について

元気な活気あふれる魚沼市の実現は全市民の願いである。それにはみんなが思いを一つにして力を合わせ努力することが最も効果的な方策と考える。市民の思いを一つにするために有効な地域コミュニティ協議会の活動について、次の点を問う。

(1) 現在 11 の協議会が活動している。それぞれの協議会の活動状況をどのように把握し、評価しているか。

(2) 今後の新協議会設立の見通しはどうか。

答 (1) コミュニティ協議会の活動状況は、集落支援員や地域担当職員のサポートなどから内容を把握するほか、魚沼市コミュニティ協議会連絡協議会を設立し、互いの活動状況の情報交換の場を設けている。評価としては、それぞれの地域に根ざした活動が展開されていると認識している。

(2) 現在堀之内地域の2地区で設立に向けた検討が進められている。

2. 地域産業の振興、支援について

市内の各種産業は、地域経済と雇用の確保に役

立っている。しかし、どの産業もこれまでにない厳しい状況にある。これを脱するために個々の産業に関して、現在の政策の見直しや新たな政策について問う。

(1) 農業について

地球温暖化が進み、魚沼の大ブランドであるコシヒカリが窮地に追いやられそうになっている。コシヒカリ BL に代わる高温に強い新コシヒカリの改良を提言するなどコシヒカリの魚沼の知名度を守り向上させる考えはないか。

(2) 商工業について

魚沼市の経済の一番の土台は地域産業であり、商工業もその一つである。地域の商工会がその活動の幅が小さくなり萎縮してきている。雇用創出で外部からの企業誘致も大切な取り組みだが地域の多くの事業所が消えればその影響の方が大きい。地域活性を考えて協力しあっている事業所から構成される商工会の活動を支援する政策はないか。

答 (1) 高温に強い品種は、新潟県農業総合研究所で研究開発されている。市では気候変動に負けない安全安心で高品質な米作りを推進している。また、JA 北魚沼の区分出荷販売、雪室貯蔵

米の販売など付加価値の高い農産物の生産に取り組み、知名度の向上を図っている。

(2) 個別の商工業者や企業への支援の他に、商工会や商店街の活動も支援している。

平成25年12月18日 第4回定例会「一般質問」

1. 全市展開の情報発信事業創出について

地元食材が豊富な市町村、農林水産業が盛んな市町村を選ぶ地域ブランド調査2013で、魚沼市が全国2位になった。あらゆる市内産業をPRするオール魚沼情報発信事業を展開し、人と物の交流拡大による魚沼市活性化を目指すことが可能である。

市政10周年、震災復興10周年、石川雲蝶生誕200年、山菜共和国建国30年など多くの記念すべき年に当たる平成26年の上期に一大オープンイベントを実施するほか、市内各イベントを記念イベントと銘打って開催し、官民一体となる魚沼市再生を目指すべきと考えるがどうか。

答 関係団体等と連携しながら、平成26年度のPRについて検討を深めたい。現在はホームページ等で魚沼産農作物・加工品のPRや新米コシヒ

カリが食べられる飲食店を紹介するほか、市内商工会でギフトカタログ「魚沼まるごと市場」の販売を開始した。農商工や観光のPRとともに健康づくりや教育分野も含め、総合的に官民一体となって情報発信の強化を進めたい。

2. 民間観光業再生支援について

自然災害の頻発、社会経済の疲弊により地域産業が弱り、なかでも観光産業が厳しい状況になっている。来客数を維持するには施設の維持・改善が不可欠だが修繕すらままならない状況にある。

一般住宅対象の支援事業と別に、観光業を対象にトイレ改修などを支援する事業を新たに創出できないか。

答 事業所等へのリフォーム支援は、趣旨に添わないため対象外と考えている。

《新庁舎建設議論について》

合併協議会作成の「合併協定書」には、**新市の事務所の位置**の項目に「合併10年以内に、適地に新たな本庁舎を建設する」とあります。また、新庁舎建設の場合、合併特例債対象期間が5年延長されたこと(対象となれば建設費の95%を借り入れることができ、その70%が交付税として入ってくる。)により新市建設計画も5年延長することが決定しました。これらのことから、議会では所管の庁舎再編整備特別委員会や議員間の話の中で一本化するにあたって、新庁舎を平成31年までに建設するべきとの声の方が多くあるように感じています。

一番の議論の対象は、新庁舎を含めた一本化する庁舎の位置であり、加えて現庁舎の利活用が大きな課題と云えます。

《新斎場建設について》

現在の沢にある斎場は、築後43年と老朽化していることから、前議会の所管委員会の中で議論され建設位置については池平地区の養豚団地跡地にすべきと方向付けされていきました。現議会になって9月定例会で、その用地約1万9千㎡を1㎡あたり4200円、4000円又は460円で取得することについての議案が提案され、原案どおり可決(15:4)しました。金額決定については不動産鑑定士による鑑定価格及び近隣の用地取得価格が参考にされていたものでした。

一部の市民と議員から価格が高いとして住民監査請求が市の監査委員に対して出されましたが、監査結果としては、12月16日に、斎場の土地選定及び購入金額に違法性と不当性は認められないことから、請求人の主張に理由がないと棄却されました。

用地価格については11月の各地の議会報告会会場で高いのではという意見が出されていたことも事実です。

《井口小学校新校舎建設について》

新校舎建設用地は湯之谷中学校西側が予定地であり、用地売買等の合意はほぼ成されたようです。2月定例会(議会)で用地取得の議決を経て、土地造成に入ることになります。今年度中に、用地の地質調査(ボーリング)も行う予定とのことですが、教育委員会では、用地取得後の農振除外、農地転用、開発行為の申請等の準備を進めているところです。

《中学校通学区域再編について》

平成 18 年末に出された小中学校通学区域再編計画を踏まえ、東湯之谷小学校と井口小学校が統合し現校舎を利用して新生井口小学校がスタートしました。

今回は H18 に出された計画書で想定した児童数がさらに少なくなり、計画を見直して、広神、守門、入広瀬の 3 中学校の統合案が示されました。これまで、市内の 6 箇所他に、3 中学校区内においても、何回か説明会が実施されました。現在は、当該の 3 中学校区の保護者の皆さんが、検討を進めている段階だそうです。2 月中には、何らかの具体的な方向を打ち出す予定としています。現計画では小学校の通学区域の再編計画はありません。

(H18 年時の計画では市内の中学校を 4 校にするもので、そのうちの一案が湯之谷中学校区と広神中学校区の破間川の東地域がひとつになるものでした。)

《スキー場について》

25 年 11 月 1 日より市内の 5 スキー場（大湯、薬師、小出、須原、大原）すべてが民営化されました。民営化するにあたり各運営団体に無償で貸与されました。財産は市のもので、今後の経費は運営団体に負担しなければならず、市の助成はありません。

ただし、スキー産業振興と市内学童の体力増進のためスキーリフト券の助成を決定し 350 万円の補正予算を可決しました。また無償貸与するにはスキー場を普通財産にする必要があり、そのためにスキー場条例を廃止しました。(10 月 31 日臨時議会)

《ギフトカタログ「魚沼まるごと市場」について》

6 商工会からなる魚沼市商工会連絡協議会が魚沼の特産品を紹介するギフトカタログ「魚沼まるごと市場」を作成しました。問合せ申込先は湯之谷商工会です。

行政視察報告

10 月 21、22 日全議員で視察を行いました。

視察先 長野県須坂市役所

目的 医療福祉ネットワークについて

内容 長野県須高地域（須坂市、小布施町、高山村）では 3 市町村が広域で須高地域医療福祉推進協議会を設置した。構成は医師会、病院、訪問介護ステーション、行政等がそのメンバーで医師看護師不足への取り組み、在宅医療の連携的取り組みなどを行っている。

視察先 山梨県南アルプス市役所

目的 市町村合併後の行財政改革について

内容 魚沼市より 1 年早い平成 15 年に合併誕生した南アルプス市は、同じく少子高齢化、社会福祉費の増加、市税減収、合併特例債終了による地方交付税の減額などの課題を抱えている。この状況にあって行財政改革に積極的に立ち向かっている。具体的には、事務の効率化、職員定数適正化、公共施設の見直し、新庁舎建設検討などに取り組んでいました。

視察先 長野県塩尻市役所

目的 林業再生・木質バイオマス発電について

内容 林業を産業として復活させるために長野県、塩尻市、民間事業者、大学が産学官連携の森林育成活用事業をスタートさせた。木材の安定供給体制つくりのため路網整備した林業経営団地を設け、年間 20.5 万 m³の木材供給を目指す。そのうち 10 万を木材加工施設に供給し床材製品等で 2.5 万 m³を利用、端材の 7.5 万 m³はバイオマス発電に利用する。また 10.5 万 m³の未利用間伐材も発電に利用する。製材端材と未利用間伐材合わせて 18 万 m³を燃料に 1 万 kw/h の発電を行い、固定買取制度で売電する計画で、平成 27 年 4 月の稼働を目指している。

この事業は林業再生、バイオマス発電、排熱利用と雇用創出の一石四鳥を狙っている。しかし木材の安定供給が図られなければ事業は成功しない。

魚沼市と産業建設委員会でもこの取り組みについて議論をスタートさせました。

行政視察（バイオマス発電）



ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は富永三千敏の後援会活動にたくさんの暖かいご支援をいただき誠に有難うございました。

二年目となる今年は皆様のご意見ご要望に耳を傾け皆様と共に、住みたい、住んで良かった魚沼市を目指して頑張っていたきたいと思います。最後になりましたが、皆様のご健康ご多幸を祈念し、あわせて富永三千敏にご支援ご指導をお願いし新年のご挨拶といたします。

富永三千敏後援会 会長 上重礼子

富永三千敏 活動の概略

月	日	曜	内 容
6	28	金	新人議員説明会
	1	月	全議員懇談会
	3	水	臨時議会 議員任期初日
	9	火	初当選議員説明会
	11	木	議会（第2回定例会） 初日
	17	水	本会議
	18	木	本会議
7	18	木	全員協議会
	19	金	総務委員会 傍聴
	19	金	福祉文教委員会 傍聴
	22	月	産業建設委員会
	24	木	議会運営委員会 傍聴
	29	月	本会議 最終日
	29	月	全員協議会 広報編集委員会
	5	火	福祉文教委員会 傍聴
	6	水	産業建設委員会 木質バイオマス発電について
	6	水	ものづくり振興協議会と意見交換会
	7	木	広報編集委員会
	12	月	議会運営委員会 傍聴
8	19	月	中越地区議員研修会（三条市にて）
	21	水	地域医療再編整備特別委員会 傍聴
	22	火	地下水対策委員会
	28	水	議会改革特別委員会
	30	金	議会運営委員会 傍聴
	30	金	庁舎再編整備特別委員会 傍聴
	3	火	市内商工会長と産業建設委員会との意見交換会
	4	水	只見町議員と産業建設委員会と意見交換会
	4	水	通学区域再編説明会（湯之谷地区）出席
	5	木	通学区域再編説明会（守門地区）出席
	7	土	湯之谷中学校運動会
	9	月	全議員研修会（議会の権限、会議の諸原則ほか）
	11	水	議会（第3回定例会） 初日
	11	水	広報編集委員会
	12	木	本会議
	13	金	議会改革特別委員会
9	17	火	新人議員研修会（市会計について）
	18	水	本会議（一般質問）
	19	木	本会議（一般質問）
	20	金	総務委員会 傍聴
	24	火	地下水対策委員会
	24	火	福祉文教委員会 傍聴
	25	水	産業建設委員会
	26	木	議会運営委員会 傍聴
	26	木	決算審査特別委員会
	27	金	議会改革特別委員会
	27	金	議会報告会実行委員会
	30	月	決算審査特別委員会

月	日	曜	内 容
	1	火	決算審査特別委員会
	1	火	広報編集委員会
	2	水	湯之谷地区老人福祉大会参加
	4	金	本会議最終日
	9	水	広報編集委員会
	11	金	広報編集委員会
	15	火	議会改革特別委員会
	16	水	産業建設委員会 現地視察（有機センター、水の郷工業団地ほか）
	18	金	再発見部会 会議（検定について）
10	19	土	井口小学校音楽発表会
	21	月	議会行政視察 ①長野県須坂市役所（医療福祉ネットワークについて） ②南アルプス市役所（合併後の行政改革について）
	22	火	議会行政視察 ③塩尻市役所（木質バイオマス発電について）
	24	木	議会報告会実行委員会
	24	木	ビジネス交流会参加
	28	月	議会改革特別委員会
	31	木	臨時議会（スキー場条例廃止とスキー場無償貸与について）
	1	金	市内スキー場民営化スタート
	5	火	ものづくり振興協議会研修会参加
	5	火	議会報告会（堀之内）
	6	水	議会報告会（湯之谷）
	7	木	議会報告会（守門）
	8	金	産業建設委員会 只見町議会訪問（只見線早期復旧について）
	12	火	雪シンポジウム参加
11	13	水	観光協会東京 PR イベント参加
	18	月	全員協議会
	18	月	新消防庁舎視察
	20	水	ひかり保育園訪問（統合について）
	21	木	議会報告会実行委員会（市民意見の取り扱いについて）
	25	月	湯之谷地区自治会長と懇談会
	26	火	湯之谷商工会と意見交換会
	28	木	議会改革特別委員会
	2	月	議会改革特別委員会
	6	金	広報編集委員会
	6	金	議会（第5回定例会） 初日
	9	月	一般質問
	10	火	一般質問
	11	水	総務委員会 傍聴
12	12	木	福祉文教委員会 傍聴
	13	金	産業建設委員会
	16	火	議会運営委員会
	16	火	庁舎再編整備特別委員会 傍聴
	20	金	議会本会議（最終日）
	25	水	広報編集委員会

水の郷工業団地視察

